

【Bコース】

<p>B 知多半島の自然と文化コース (1泊2日)</p> <p>本コースでは、海あり丘陵地ありのコンパクトな自然～知多半島を巡り、磯の生物観察から湿地観察を行います。また、知多の醸造についても見学していただきます。</p>	<p>定員 40名 (最小催行人数25名)</p> <p>参加費 [20,000円]</p>
<p>8月4日(木)</p>	<p>12:20 会場出発(バス内で昼食)→13:50 宿舎着・準備→①荒磯松海岸にて磯の生物観察会→②宿舎にて講演：「愛知県におけるアサギマダラ調査」</p>
<p>8月5日(金)</p>	<p>8:30 宿舎発→9:00 ③化石採集→10:40 ④南知多ビーチランド見学等・昼食→13:30 ⑤壱町田湿地→15:00 ⑥酢の里→17:00 名古屋駅着(解散)</p>
<p>宿 舎</p>	<p>[まるは食堂本店] (温泉あり) 〒470-3412 愛知県知多郡南知多町豊浜字峠8 TEL 0569-65-1315</p>
<p>知多半島は県庁所在地である名古屋の南に位置し、南北に長さ約40km・幅5～14kmの半島です。「常春の地」とよばれており、年間を通じて穏やかな気候に恵まれています。半島部全域に海拔数十m前後の丘陵地が続き、南部では海岸近くまでこの丘陵地が迫っています。日当たりがよく潮風を含んだ風が当たるため独特の植物相が見られるのも知多半島の特徴です。</p> <p>①南知多町豊浜は多種の海産物が水揚げされる漁港としても有名です。この漁港にほど近い「荒磯松海岸」は、伊勢湾の中でも潮の流れが速く、生物相が豊かな海岸です。他県にも知られるメジャーな観察地でもあります。なお当日は中潮で、干潮のピークは14:50となります。</p> <p>②長距離の渡りをする蝶として知られているアサギマダラについての講演をしていただきます。ここ知多半島から2000kmに及ぶ移動記録もしており、アサギマダラにどのように関わってきたかについての大変に興味深いお話です。</p> <p>③知多半島先端部は地質的には「師崎層群」とよばれ、新第三系中新統(1500～2000万年前)に属します。露頭部が各所にあり、キララガイ、チタスナモグリ、タヌキブクなどの化石を手軽に、また運がよければシロウリガイの化石も採集することができます。</p> <p>④南知多ビーチランドは愛知県でも有数の水族館施設です。大型水槽が設置されており、伊勢湾・三河湾で特徴的なスナメリの飼育も行われています。ウミガメの飼育・保護にも力を入れており、バックヤード見学では施設観察もでき、ウミガメに触れることもできます。</p> <p>⑤壱町田湿地は天然記念物に指定されているコンパクトな湿地帯です。知多半島の中央部あたりに位置する、丘陵地帯にあり、周囲をフェンスで囲うことで貴重な植物群落を保護しています。一般公開日は年に数回と限定されています。湿地の自然環境は、クロマツなどの樹木が周辺を囲み、中央部では湿地の源となっている低温弱酸性の湧出水が流れています。国内稀産のシロバナナガバノイシモチソウと東海地区特産種であるヒメミミカキグサをはじめモウセンゴケ・トウカイコモウセンゴケ・各種ミミカキグサなどの食虫植物の他、東海地方伊勢湾周辺特産のシラタマホシクサが見られます。当日は一般公開日ではありませんが特別に踏査観察が可能です。</p> <p>⑥「酢の里」は知多半島の中央に位置する半田市にある、日本でも唯一の「酢の総合博物館」です。知多半島は昔から味噌・醤油・日本酒などの醸造が盛んな地でもあります。醤油やたまりなども有名ですが、全国CMでも有名なミツカンには実は半田市に本社があります。酢をテーマにした博物館で発酵についての知識を深めることができます。</p>	
<p>注意事項 ◎1日目の昼食は含まれておりません。(別途ご用意下さるか参加申込時に注文して下さい) ◎2日目は南知多ビーチランドで各自で昼食をおとり下さい。(参加費には含まれていません) ◎「磯の生物観察会」では箱メガネ・バット・磯金は用意しますが、その他必要な物品がありましたら各自でお持ちください。 ◎暑さ対策は各自でくれぐれもお願いします。 ◎申し込み前に、http://www.aichi-seibutsu.com/jabe66/kenshyukouza.htmで変更点や注意事項などを確認して下さい。</p>	

